

2017年度豊田市学校司書インターンシップ報告

The 2017 Report of Gakko-Shisho Internship in Toyota-city

河村 俊太郎*

Shuntaro KAWAMURA

今年度で3期目となる豊田市の学校へのインターンシップであるが、今年度も豊田市立寺部小学校にて、中西由香里学校司書の指導の元、3年生の岡田さやかさんと河野杏奈さんが参加した。

今年度のインターンシップで行ったことは大きく分けて7つある。まず1つめは、児童と実際に接して見ることである。図書館の中だけでなく、時には校庭に出てサッカーをするなど様々な形で児童と接し、児童が何を考えどのようなニーズを持っているのかなど、講義ではなかなか学べないことを体験することができた。

2つめは、児童と接するための手段にもなったが、読み聞かせである。天気が良いと外に遊びに行ってしまう児童もいたが、読み聞かせに対する児童たちの反応は概ね良く、これを通じて児童とより密に接することができるようになった。

3つめは、選書である。5年の社会科の授業や4年生の国語の授業に使用する本を選び、テーマ・授業を通して子供に何を学んでほしいのか、他の学年と内容が重複していないか、といったことを担当の教員と話し合っていくなど多くの工夫が選書という作業には必要であることを学んだ。

4つめは、実際に授業に参加し、学校司書がどのように授業と関わっていくのかである。児童たちが真剣に授業と向き合っていく姿を見る中で、学校司書はどのように児童の主体性や興味を引き出せば良いのかを学んでいった。

5つめは、展示や掲示の企画、整備である。夏休みの課題と防災についての2回作成し、折り紙や色紙を使った花の飾りやラジオの模型や三角巾を置いてみたところ、児童に非常に好評であった。

6つめは、豊田市中心図書館におけるレファレンスである。夏休みの期間中、調べ学習や読書感想文などに関するものを受け、学校図書館と公共図書館の違いを実感することができた。

7つめは、ICT (Information and Communication Technology) を利用した授業の見学、参加である。人間情報学部で学んだプログラミングやICTに関する知識がこうした授業にも活かせることが確認でき、司書としてのプラスαの能力の獲得に大学での学びが繋がっていくことを実感したようであった。

今回のインターンシップも学生たちは講義だけでは得られない新しい学びを得ることができ、非常に実りあるものとなった。今後も本学部は豊田市と連携し、学生たちが新たな学びを得られる様々な事業を行っていきたい。最後に、今年度もインターンシップを快く引き受けていただいた寺部小学校の池田美枝子校長先生のご厚意に感謝したい。

* 愛知淑徳大学人間情報学部